

ちがうまま、ともに

自ら選んだわけではないけれど、自分はまわりとちがう。先天的なもの、なにかのきっかけでそうなったもの、その中身も理由もさまざま、日常生活に支障のあるものもあれば、日々はそれほど苦にならないものもある。そもそも人は一人ひとりみなちがう。お互いがそれぞれちがうまま、一緒に生きている。でも、もう少し、一緒に生きていく日々が肩の力を抜いた安心したものになるように。一緒に学んでみませんか。

日時・場所	テーマ・講師
7月7日(金) とりぎん文化会館第2会議室	生きづらさを抱えた人がうまれてきてよかったと思える社会の実現 <small>たけだしんや</small> 竹田伸也さん(鳥取大学医学部教授)
7月25日(火) 麒麟 Square2階多目的室1	すべてのひとが、その存在を認められる社会に <small>たいらあいか</small> 平良愛香さん(日本基督教団川和教会牧師)
8月10日(木) とりぎん文化会館第2会議室	コロナ禍における差別と不寛容 <small>むらやま あや</small> 村山 綾さん(近畿大学国際学部准教授)
8月30日(水) とりぎん文化会館第1会議室	マイクロアグレッション 気付かないうちに人を傷つける言動 <small>なかむら ただし</small> 中村 正さん(立命館大学総合心理学部教授)
9月15日(金) わらべ館いべんとほーる	ともに生きることは 理想の介護を考える <small>かねこともし</small> 金子智紀さん(慶応大学 SFC 研究所上席所員)
9月26日(火) とりぎん文化会館第2会議室	ホロコーストの歴史から学ぶ -アウシュビッツからの問い- <small>いしおかふみこ</small> 石岡史子さん(ホロコースト教育資料センター理事長)

※時間は13:30~16:10

※開催ごとに会場が異なりますので、来場前に確認をお願いします。

※すべての講座に参加を希望される方は、6月30日(金)までにお申し込みをお願いします。

※第6回(9月26日(火))は、講師はリモートでの講演となります。

※延期や中止など急遽変更になる場合は、鳥取市及びセンターホームページでお知らせします。

※感染症対策へのご協力をお願いします。

対 象：人権について関心のある市内在住の人、または鳥取市に通勤、通学している人

受講料：無料(すべての講義の受講も、選択式の受講も可能)

その他：手話通訳・要約筆記をご希望の方は**事前申込**が必要です(講演会には両方つきます)

人権とっとり講座講演会

9月9日(土)14:00~15:30 わらべ館いべんとほーる

「描かれない思いをカタチに 落語家 林家つる子の挑戦」

はやしや こ
林家つる子さん(落語家)

学びの概要

1	市場原理が生活の隅々まで浸透していくと、人々はなにごとにも「損か得か」というものさしで測ろうとします。そこには、カラフルな私たちの体験を反映した「多様なものさし」は存在しません。困難な今を生きるのは、「価値観の新たなものさし」を手に入れる体験ととらえ、すべてのひとが生まれてきてよかったと思える社会づくりについて、ともに考えます。
2	「セクシュアルマイノリティに対する認識はかなり広まってきましたが、理解が深まったかといえましょう。ゲイである自分は、性的少数者であると同時に、女性から見れば抑圧者である男性です。私の母親は、私の性的指向について共有する以前から、常に『周りが見えるか、どう思うか』でなく、『私がどうしたいか』を大切に考えて育ててくれ、そのことに今とても感謝しています。」と語られる平良さん。 さまざまな人が不利益を被りやすい現在のシステムについても、ともに考えたいと思います。
3	2020 年から感染を世界に広げていった新型コロナウイルス感染症。感染流行による影響が長期化するにつれて感染者や医療従事者等への差別問題が生じました。さまざまな形で甚大な不利益をもたらす偏見や差別がなぜ生じるのか、社会心理学的な視点から紐解きます。
4	差別する意図がない何げない会話や褒めたつもりの言動であっても、結果として特定の集団や人、ジェンダー、性的指向などによって相手を見下す言動のことを「マイクロアグレッション」と呼びます。その特性から周囲にも相談しづらく、また日常的に繰り返されることも多いため、あからさまな差別よりも心身に与える影響は大きいと言われています。「マイクロアグレッション」という概念を社会の共通の課題とし、無意識の偏見に気づくためにともに学びます。
5	「ケアをする、されるという関係を超えて、だれもが『ともに生きる』ことができる場所では、利用者が生き生きとしている。施設は暮らしの場なので『正解』はなく、人の生活をマニュアル化してはならない。『ともに生きる』というのはきれいごとではなく、しっかりとかがわかること」。 高齢者の生活を支えるうえで本質的に大切な 30 の考え方をもとに話し合いを進めます。
6	第二次世界大戦時にナチ・ドイツとその占領下のヨーロッパで起きた虐殺「ホロコースト」。「ユダヤ人に生まれた」。ただそれだけの理由で約 600 万人の人が殺され、障がい者やロマの人々も犠牲となりました。ホロコーストのはじまりは、「街角のヘイトスピーチ」だったとも言われています。ホロコーストはなぜ起きたのか。ホロコーストの歴史を通して、私たちの暮らす社会を見つめ直します。

申込先・問い合わせ先

鳥取市人権局人権推進課

Tel 0857-30-8071 Fax 0857-20-3945 eメール jinken@city.tottori.lg.jp

(公財) 鳥取市人権情報センター

Tel 0857-24-3125 Fax 0857-24-3444 eメール info@tottori-jinken-joho-center.or.jp

7/7	7/25	8/10	8/30	9/15	9/26	講演会9/9

※参加を希望される日程に○をつけてお申し込みください。

名前 _____

連絡先 _____

※延期などの事態が発生した場合に連絡が取れる携帯電話番号もしくはメールアドレスなどの記載をお願いします。